



## おいしい給食で、毎日が食育

『毎日の食事が最も大切な食育である』。この観点から、新年度の給食は和食中心のメニューへと大きく変更いたします。実はパスタ等は、大量調理でおいしく提供するのが難しいメニューです。一方で和食は、栄養バランスに優れているだけでなく、大量調理でもおいしさが損なわれないという強みがあります。和食の頻度を増やすことで、ご家庭に「和食を作らなきゃ」という負担をかけることなく、食環境をより豊かにできるのは大きなメリットだと考えています。また、子どもが自然と「食べたい！」と思える環境を整えるため、食材の質にもこだわります。給食費をすえ置いたまま、よりおいしい給食を提供するために、青果や精肉をそれぞれの専門業者さんとの直接契約に切り替えはじめています。特にお野菜は、以前よりもぐっと新鮮でおいしくなりました。和食中心メニューへの完全移行は、秋頃までかかる見込みですが、子ども達が毎日口にする「給食」という環境を整えることは、心身の豊かな育ちに直結します。より良い生活環境を目指して、新年度も職員一同、協力しながら取り組んでまいります。

園長 山田裕宇記